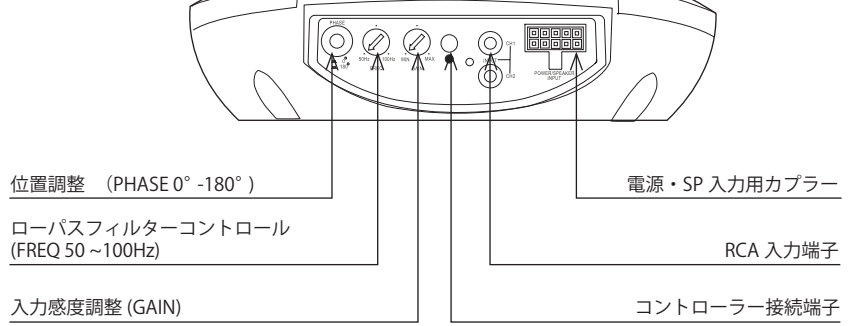


はじめに

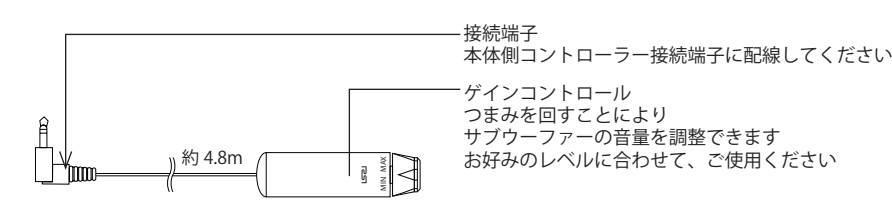
当社製品を取り付ける前に本取扱説明書および車両のサービスマニュアルをよく読み、各種の注意事項、取り付け方法などを理解してから作業に取り掛かってください。本取扱説明書は、いつでも参照できるように大切に保管してください。

各部の名称

本体



コントローラー



仕様

● 最大出力	160W (80Wx2)	● 入力レベル (Distortion level 1%)	RCA input 50mV-0.2V
● 定格出力	100W (50Wx2)	● 使用電源	Speaker input 0.8V
● 出力インピーダンス	4Ω+4Ω	● 本体サイズ	14.4V (10V-16V)
● カットオフ周波数	50~100 Hz	● 重量 (アクセサリ含む)	270mm(直径)x69mm(高さ)
● S/N (A)	>60dB		4.8 Kg
● 最大消費電流	10A		

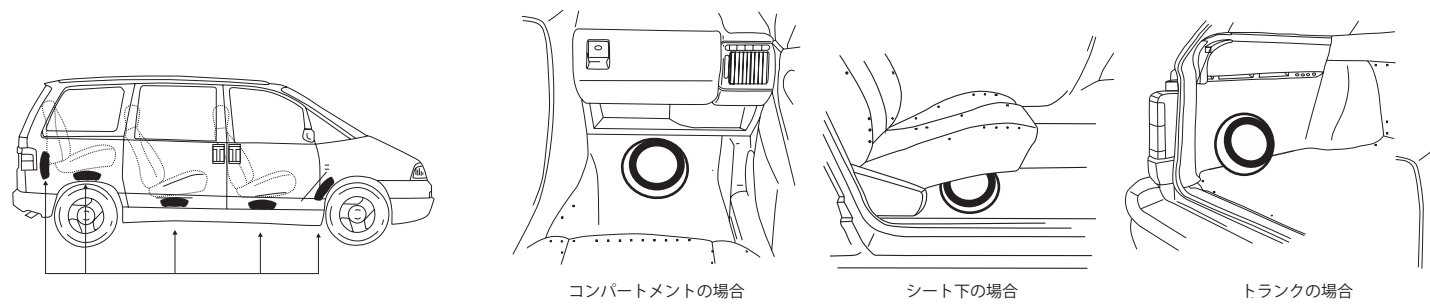
使用上の注意

- 警告**
- 本機を用途以外の目的で使用しないでください。
 - 本機は12Vマイナスアース車専用になります。他の車両には使用しないでください。
 - 本機を分解や改造をしないでください。取扱説明書の指示にない分解、加工や改造を加えると、破損や火事などの事故につながる恐れがあります。
 - 本機にカバーなどをかけたまま電源を入れないでください。放熱効果が損なわれ、過熱や故障の原因となることがあります。
 - 本機に電源が入っている状態で、コネクターの抜き差しは行わないでください。故障の原因となることがあります。取り外しなどでコネクタを抜き差しする場合は、必ず本機の電源を切ってから行ってください。
 - 本機に付属しているコントローラーは、本体コネクタ以外には絶対に接続しないでください。コントローラーだけでなく接続した機器の故障の原因となることがあります。
 - コントローラーは直射日光の当たる場所への設置や、放置を行わないでください。故障の原因となることがあります。
 - 本機に異常が発生した場合、直ちに使用を中止してください。そのままご使用になると感電、故障、火災の原因となります。

注意

- 本機をご使用になる際は、音量を上げすぎないように注意してください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与える恐れがあります。
- 本機をご使用になる際は、音量を上げすぎないように注意してください。音が歪んだ状態で、長時間続けて使用すると、スピーカーが熱的あるいは機械的に破損する原因となることがあります。
- 本機を落下させる、たたく等の衝撃を加えないでください。破損や故障の原因となります。
- 本機は耐水仕様ではありません。水やジュース等が本機に入ると故障の原因となります。
- 真夏や真冬は、車内の温度が極度に変化していますので、車内を適温にご使用ください。
- 本機は、低域雑音のもとと多いカーステレオシステムと組み合わせて使用しないでください。カセット、CDの出し入れ時や、電源のON/OFF時に、ポップ音 (ポンという音) などの雑音が再生される場合があります。

設置場所例

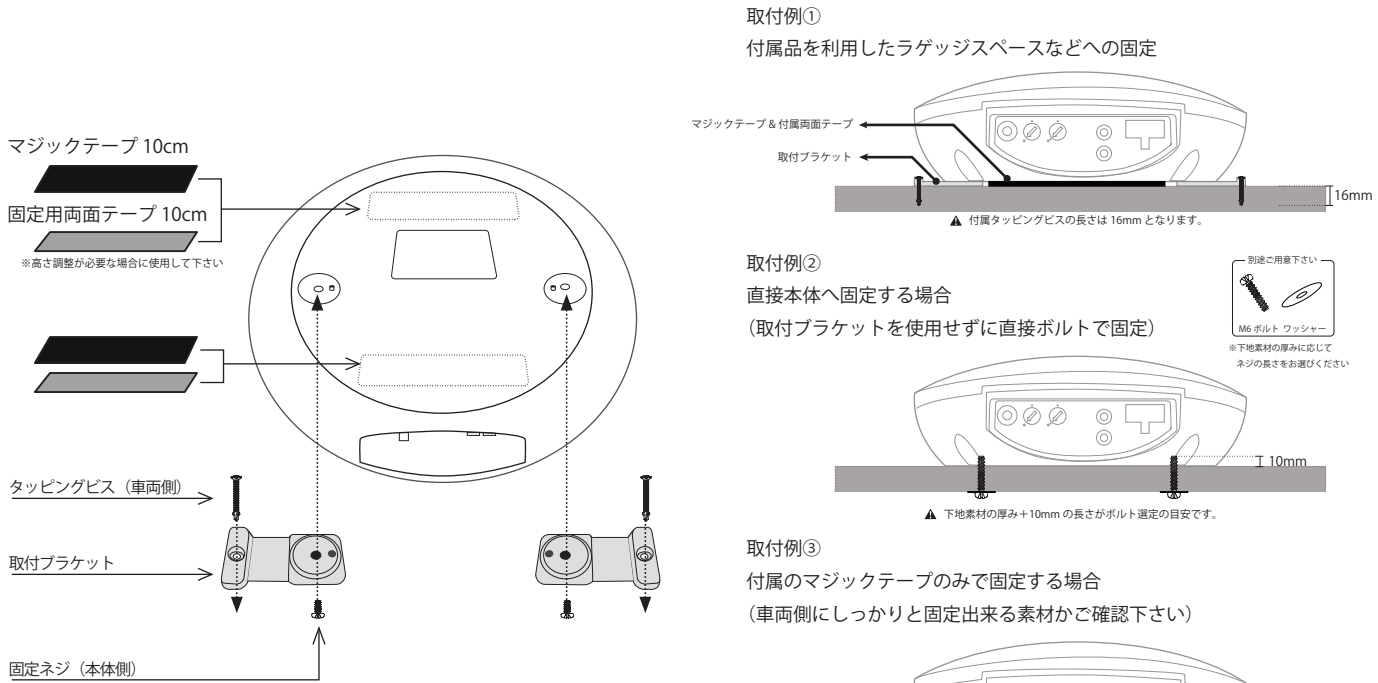


※本機を設置予定場所に仮置きし、十分なスペースがあることを確認してください。設置場所にヒーター吹き出し口等がある場合は、必ず熱風が直接当たらない様に処理等を行ってください。

取付方法 (取付例①)

1. 取付ブラケットを固定ネジで本体底面に取付けします。(2か所)
2. 付属のマジックテープ/固定用両面テープを本体裏面に貼付けます (2か所)
3. タッピングビスで本体を車両にしっかりと取り付けます。

※車両に穴を開けて商品を取り付ける場合、ガソリタンク、パイプ類、他の電気配線などの位置を確認の上、これらを絶対に傷つけないようにしてください。これらのものが傷つくと、火災の原因となります。



取付時の注意

- 警告**
- 作業を始める前にバッテリーのマイナス端子を外してから作業を行ってください。
 - 本機およびコード類を運転の妨げになる場所に取付けないでください。運転操作に支障をきたし、事故につながる危険性があります。
 - 本機およびコード類は座席レール等の動く部分にかみ込まないように配線して下さい。破損や火災などの事故につながる恐れがあります。
 - ヒューズは必ず10Aのヒューズをご使用ください。10A以外のヒューズを使用すると故障や火災の原因となります。

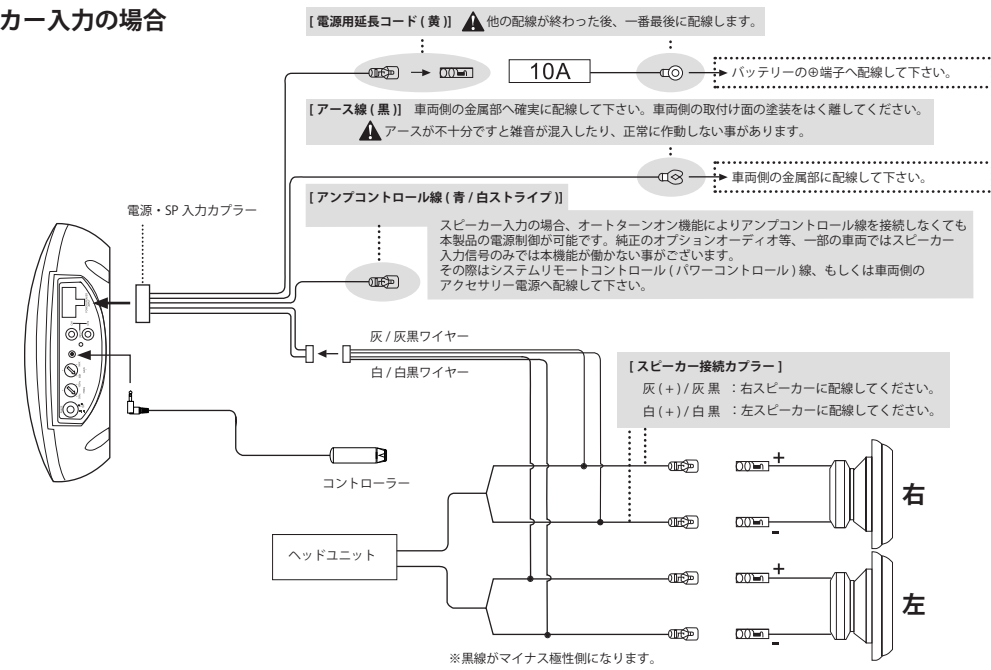
注意

- 取付および加工等についてはお客様の責任で行ってください。当社では責任について一切応じられませんので、予めご了承ください。
- 本体の固定はガタツキ等が無いように確実に行ってください。脱落等による破損や故障の原因となります。
- 本機は耐水仕様ではありません。水や湿気が多いところへは取付を行わないでください。
- 電源への配線は付属のヒューズ付きコードを使用して、正しく配線して下さい。ヒューズの無いコードを使用したり、接続を誤ったりした場合、発煙や発火の原因となることがあります。
- 本機への接続は、必ず付属のコードを使用してください。純正スピーカーコードをそのまま使用しますと、ノイズ発生の原因となることがあります。付属のコードとイグニッション、車載コンピューター、ハーネスなど、ノイズの多く発生するものと近づけないように配線し、ご使用ください。
- スピーカーへの配線は極性を間違えないように、正しく配線してください。スピーカーの極性 (+、-) を間違えて配線しますと故障の原因となります。
- 接続する場合、お手持ちのカーステレオの取扱説明書も参照してください。

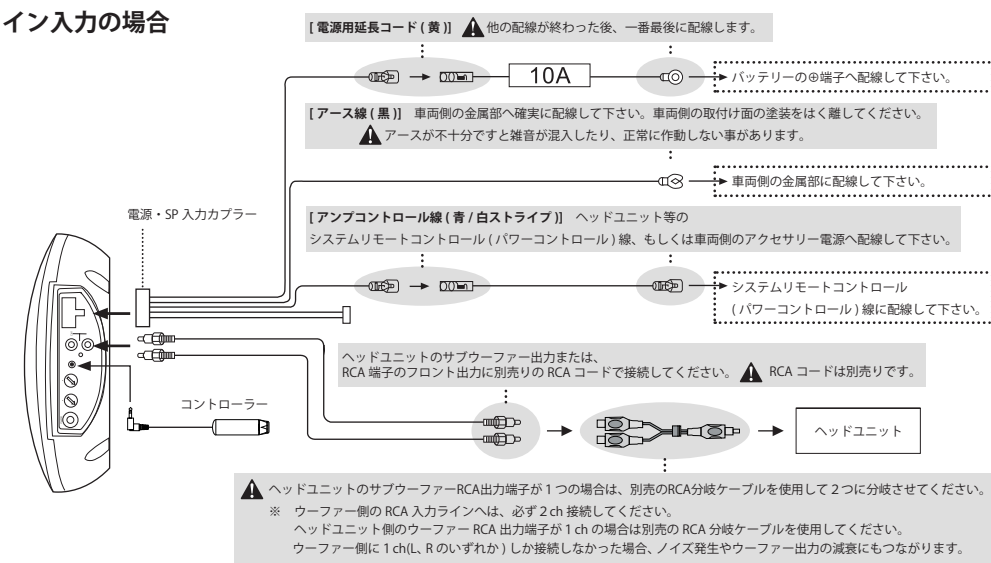
配線例

警告 スピーカー入力接続と RCA 入力接続は同時に配線しないでください。本体取付け位置によっては別途延長ケーブルが必要になる場合があります。

スピーカー入力の場合



RCA ライン入力の場合



簡易調整手順

- ① ウーファー本体の入力感度調整 (GAIN) つまみを MIN 側に絞ります。ローパスフィルター周波数 (FREQ) つまみを、中央の位置に設定します。位相調整 (PHASE) ボタンを 0° の位置に設定し、システムの電源を ON にしてください。
- ② ヘッドユニット (CD デッキ、AV ナビゲーションなど) 側の BASS、TRE をセンターの状態、また、LOUDNESS 機能やイコライザー、DSP 機能があるヘッドユニットについては、一旦フラットにしてからの調整をお勧めします。
- ③ ヘッドユニット側のボリュームについては、普段聞いているボリュームで、また音楽ソースについても、普段聴かれているソースをご使用いただく事をお勧めします。
- ④ 次にウーファー本体の入力感度調整 (GAIN) を MIN 側から徐々に右回りで、システム全体でバランスの取れる位置まで上げていきます。※入力感度調整 (GAIN) を上げすぎたり、ヘッドユニット側のボリュームを上げすぎてもひずみが出やすくなります。ひずみが出ないよう、ご注意ください。※本機には、GAIN コントローラーがありますので、手元での調整が可能です。コントローラーでの調整時にも、ひずみが出ない様、ご注意ください。
- ⑤ 次にローパスフィルター周波数 (FREQ) を左右に動かして、他のスピーカーとのバランスが最良となる位置に設定してください。※周波数が高すぎる場合は、ウーファーの低音の存在感が目立ってしまい、他のスピーカーとバラバラに聴こえる傾向があります。
- ⑥ 次に位相調整 (PHASE) ボタンを 0°、180° の切替を行い、運転席に座った状態で良好な方を選んでください。(ウーファーの取付位置や、車内空間の広さ、スピーカーシステムの違い等によって、180° (逆相) の方がよい場合もあります。)
- ⑦ 最後にヘッドユニット側の BASS、TRE 調整や、LOUDNESS 機能、イコライザー機能を使い、お好みの音質に調整いただく事をお勧めします。

その他

スピーカーライン入力での接続の場合は、ヘッドユニットスピーカー出力のフロントスピーカー側に接続してください。(リア側に接続しますと、ウーファーの低音がリアスピーカーのボリュームと連動してしまい、後方からの音が大きくなり、フロント、リアのつながりが悪く、バラバラに聴こえる傾向になります。)

過大入力に注意

音がひずんだり、異音 (ボコボコ、ベコベコという様な音) が出るような状態は、過大入力です。過大入力を続けるとスピーカーの破損、故障の原因になります。過大入力にならない状態でご使用ください。